

# 記入例

## 申立書

〇〇年 〇月〇〇日

寄居町長 あて

申請者 住所 寄居町大字寄居〇〇番地〇

(所有者) 氏名 寄居 太郎



このたび、私が建築し、又は取得しました下記家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅の用に供するものに相違ありません。

### 記

1. 家屋の所在地 寄居町大字寄居〇〇番地

家屋番号 〇〇番〇

2. 入居予定年月日 〇〇年 〇月 〇〇日

3. 現在家屋の処分方法等

売却

4. 入居が登記の後になる理由

抵当権設定のため

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。